

1月は、第一鳥取丸による海洋観測がないため、広域水温分布図はありません。

水産試験場

平成25年度のベニズワイ資源管理共同調査について

(はじめに)

ベニズワイ資源の減少を危惧された漁業関係者は、平成19年から資源回復計画(個別割当制、リング付漁具の導入)に取り組み、それまで減少し続けていた境港のベニズワイ漁獲量は、平成24年には8,261トンと、8,000トン台で推移するようになりました。

通常は漁獲量の推移を見ることで、ある程度資源動向は推察できますが、ベニズワイのように獲る量に上限が設けられている場合は、漁獲量から資源動向を見ようとしても無理があります。このような場合、漁獲単当たり漁獲量の推移を見たり、試験採集を実施して資源状況を調べます。

ベニズワイの場合、調査のために規制されている大きさより小さいカニも採集できるように国の特別な許可をもらって、図1の漁具を使い、ベニズワイ漁業者と水試が共同で調査をしています。



図1 調査に使用する試験漁具(通常網と3cm目合網)



図2 通常網(左)と試験網(右)の漁獲量

(結果の概要)

H25年の結果は、通常網で一籠当たり雄32枚、試験網で雄74枚、と雌111枚となり、リング付網を使用することにより一籠当たり小型雄約40枚、雌約111枚の保護が実証されました(図2、3)。

試験網の入籠状況の推移から、法令で制限されている甲幅9cm未満(未成年体)と9cm以上(成体)についてその動向(図4)をみると、成体については緩やかに増えてきていますが、未成年体では、H22年から減少してきて、それが全体の減少傾向の要因となっています。

未成年体は次の漁獲対象資源となるため、未成年体の多寡により次期の漁獲量が左右されます。現状では未成年体数が徐々に減少してきているので、引き続き注意深く監視する必要があります。

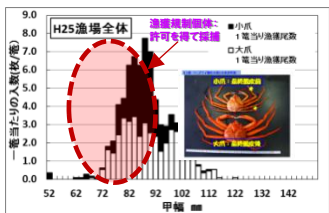


図3 平成25年漁場全体の試験網雄の大甲小甲別甲幅組成

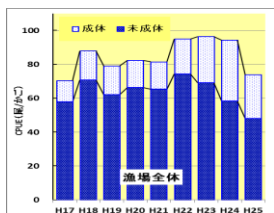


図4 漁場全体の未成年体と成体の年別推移

栽培漁業センター

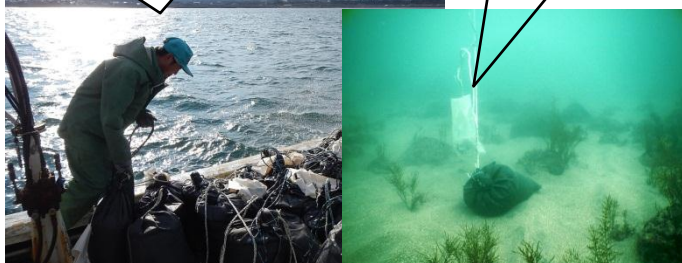
御来屋でクロメの造成を行いました

昨年、12月にサザエ刺網の漁場となる沖合域の藻場が減少したため、藻場造成してほしいとの要望を受け、御来屋港西側で「スポアバック方式」による造成を実施しました。この方式は、成熟した海藻を採取し、これを網袋などに入れて、海底に設置することにより、海藻のタネを周辺に拡散させる造成方法です。昨年は、御来屋港西側で実施しましたが、御興味のある地区は下記担当に問い合わせください。

(担当: 増殖推進室長 倉長
電話 0858-34-3321)

クロメ投入風景。今回は土裏に芽がつくことを期待して、土裏を重りとして使用しました。

海底に投入されたクロメ。クロメは袋の中に入っています。



平成24年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

ニチモウ株式会社

本社 東京都品川区東品川二丁目2番20号(天王洲御船ビル) 千140-0002
電話 03-3458-3020(代表) FAX 03-3458-3088 http://www.nichimo.co.jp/
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 千684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

水産試験場

鳥取と通信(県水産試験場レポート)の連載が始まりました。

平成25年10月から山陰中央新報に、「鳥取と通信」と題して水産試験場の研究員の日ごろの研究活動や水産業、海の生物の生態を紹介した水産試験場レポートの連載が始まりました。ご期待ください。

掲載期間:平成25年10月から1年間

掲載日:隔週金曜日

今後の連載スケジュールを紹介します。

(あくまで予定ですのでタイトルや記事の内容が変わる可能性があります)

- 2月 7日:回復しつつあるマイワシ-1
- 2月21日:回復しつつあるマイワシ-2
- 3月 7日:カタクチワシは海の生産力のバロメーター
- 3月21日:春イカの訪れ
- 4月 4日:スルメイカを求めて
- 4月18日:魚とうま味と脂-1
- 5月 2日:魚とうま味と脂-2
- 5月16日:マアジの漁獲量を占う
- 5月30日:水産業を底支えするマアジ
- 6月13日:海の王様クロマグロ
- 6月27日:クロマグロと地域経済
- 7月11日:夏の海を漂うクラゲ達
- 7月25日:夏のごちそう!! 白イカ
- 8月 8日:活イカの普及
- 8月22日:潮の流れと漁業
- 9月 5日:ハタハタの大冒険
- 9月19日:鳥取のハタハタは何故おいしい

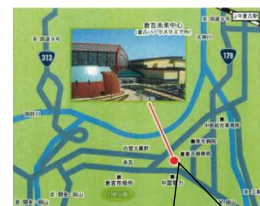
鳥取県水産研究・実践活動報告会にご参加ください!

漁村の活動や自主取組の輪を広げるとともに、調査及び研究の成果の幅広い普及を図るため、鳥取県水産研究・実践活動報告会を下記のとおり開催します。

【開催日時】平成26年2月14日(金)午後1時30分～4時30分頃
【場所】鳥取県倉吉未来中心 2階 セミナールーム3A
(鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5)

【発表課題(予定)】

- 中野港漁村の取組
- 潮流情報の利活用について
- やってみよう! 活イカ
- サワラの1歳魚の移動と成長&2014漁況予測
- キジハタ放流試験とこれからの展望
- 藻場造成事業に参加して



(問い合わせ先:水産課 電話:0857-26-7314)



共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530